

## 災害用備蓄医薬品等の見直しについて

災害時には迅速な初期医療救護活動が求められており、医薬品等を県有品として備蓄し、災害時等に迅速に供給できる体制を構築しているところである。

備蓄医薬品については定期的な見直しを図っており、後発品への切り替え及び医薬品の保管等の状況を勘案し、下記のとおり見直すこととした。

### 1 後発品への切り替え

医療の現場に後発医薬品が浸透してきていることから、後発医薬品を導入しても、医療現場で混乱を生じることが想定しにくい現状となったため、一部を期限切れに伴い後発品へ順次切り替えることとする。

- フロモックス錠 100mg (塩野義製薬) →セファペンピホキシル塩酸塩水和物 100mg
- イソジン液 10% (塩野義製薬) →ポビドンヨード 250ml (10%)
- ゲンタシン軟膏 0.1% (MSD) →ゲンタマイシン硫酸塩 0.1% 10g
- ソリタ-T3 号輸液 (陽進堂) →維持液
- ソセゴン注射液 15mg→ペンタゾシン 15mg
- ラクテック注 500ml→乳酸リンゲル液 500ml
- 大塚糖液 20%→ブドウ糖 20% 20ml
- 大塚生食注 500ml→生理食塩液 500ml

### 2 品目変更

(1) アダラートカプセル 10mg については、同効薬 (血管拡張剤) であり「災害時超急性期における必須医薬品リスト (一般社団法人日本災害医学会)」にあるアムロジピンベシル酸塩へ変更する。

- アダラートカプセル 10 mg→アムロジピンOD錠 10 mg

(2) ステロイド軟膏については現状抗生剤配合品を採用しているが、抗生剤を別に採用していることから、災害時の用途を鑑み、抗生剤を配合していない軟膏に変更する。

- リンデロンVG軟膏 0.12%→リンデロンV軟膏 0.12%

### 3 医薬品の保管への配慮

アンヒバ坐剤小児用 200mg については、冷暗所保管となっており、停電等の影響により品質の確保が困難であることから、室温保存可能品へ変更する。

○アンヒバ坐剤小児用 200mg→アセトアミノフェン坐剤小児用 200mg（貯法が室温保存のもの）

### 4 用途変更

向精神薬であり救護所で管理することが困難であること及び用途を鑑み、救護所用から病院用へ変更

○ソセゴン注射液 15mg、セルシン注射液 5 mgを救護所用から病院用へ変更

### 5 備蓄品目から削除

災害時に使用が見込まれないため、キシロカインゼリー2%、メイロン静注 7%については、現在保有品の期限切れに伴い、品目から削除